

不安の医学

「パニック症とさまざまな不安症」

日時 2019年2月17日(日)
14時30分～16時30分
(開場は14時)

場所 はまぎんホール ヴィアマーレ

入場料 無料(事前申込は不要)

<はじめに>

パニック症(パニック障害:PD)は、ある日突然理由もなく、特別のストレス状況でもないときに、激しいめまい、動悸、呼吸困難、胸痛、吐き気、ふるえ、発汗などの身体症状が出現し、このまま死んでしまうのではないかと強い不安や恐怖におそわれるパニック発作を中心症状とします。通常の身体的検査では特に異常は検出されず、適切な診断・対応を受けられないこともあります。パニック発作は適切な治療を受けないと繰り返し、症状は進行し、慢性化し外出恐怖やうつ病を合併してしまう可能性もあります。

今回、NHK大河ドラマの脚本家で、パニック症体験者でもいらっしゃる田淵久美子様をお招きし、発症から寛解までの体験談をお話して頂くことになりました。パニック症で悩んでいる当事者の方およびご家族の方には、大変貴重な機会になると思います。

そのほか、社交不安症(社交不安障害:SAD、あがり症)や全般性不安症(全般性不安障害:GAD、心配症)についてもご紹介いたします。

今回の横浜講演会が、症状の理解を深める場となり、皆様の健康な生活づくりになる事を期待しております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

平成31年 如月

司会：貝谷 久宣
NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会 代表

●14:30～
Opening Remarks

貝谷 久宣
NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会 代表

●14:40～
「あがり症と心配症」

海老澤 尚
医療法人和楽会 横浜クリニック 院長

●15:25～ 休憩(10分間)

●15:35～
「パニック症と共に生きる

—NHK大河ドラマ『篤姫』の脚本は
闘病生活の中で生まれた—

演者：田淵 久美子
NHK大河ドラマ『篤姫』・『江』脚本家

●16:20～
Closing Remarks

貝谷 久宣
NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会 代表

かい や ひさのぶ
貝谷 久宣



パニック症研究センター代表・医療法人和楽会理事長。1943年名古屋市生まれ。1962年愛知県立明和高校卒業。1968年名古屋市立大学医学部卒業。岐阜大学附属病院にて研修。ミュンヘン・マックスプランク精神医学研究所留学。岐阜大学医学部助教授、自衛隊中央病院神経科部長、岐阜大学客員教授を経て1993年開院、医療法人和楽会理事長。NPO法人不安・抑うつ臨床研究会代表。第1回日本不安障害学会会長(2009年)。著書：「よくわかる 薬いらずのメンタルケア」主婦の友(2011)、「社交不安障害」振興医学出版社(2010)、「非定型うつ病」日本評論社(2008)、「不安・恐怖症のこころ模様」講談社(2008)、「マインドフルネス・瞑想・坐禅の脳科学と精神療法」振興医学出版社(2007)、「気まぐれうつ病—誤解される非定型うつ病」筑摩書房(2007)他

え び さ わ たかし
海老澤 尚



東京大学医学部医学科卒業。東京大学医学部附属病院医員、埼玉医科大学助手、(財)東京都神経科学総合研究所流動研究員、米国ハーバード大学医学部リサーチフェロー、埼玉医科大学講師、東京大学大学院医学系研究科客員准教授、東京警察病院神経科部長、メディカルケア虎ノ門副院長を経て2015年3月より横浜クリニック院長。「分子精神医学」誌編集同人。参考図書：「大丈夫!何とかあります 体と心の大事なサイン 軽症うつ」[監修]主婦の友社(2017)



たぶちくみこ
田渕久美子

島根県生まれ。脚本家・作家。出版社勤務、塾講師などを経てシナリオスクールへ通い、85年デビュー。

テレビドラマに『勝利の女神』『ニュースの女』『殴る女』『彼女たちの結婚』『ブランド』『定年ゴジラ』『女神の恋』『美女と男子』『定年女子』など多数。

NHK連続テレビ小説『さくら』では橋田壽賀子賞受賞。『冬の運動会』が放送文化基金賞・テレビドラマ番組賞を受賞。

映画『恋する彼女、西へ』、舞台『笑われたかった男』、落語『囃う伊右衛門』、狂言『耳なし芳一』、ミュージカル『とびらのむこうに』なども。

2008年のNHK大河ドラマ『篤姫』は空前の大ヒット。2011年の大河ドラマ第50作目にあたる『江～姫たちの戦国～』の原作・脚本を手がける。

エッセイに、『女の道は一本道』（小学館）、『毎日が大河』（幻冬舎）等。小説に、『江』上下巻（NHK出版）、『美女と男子』（NHK出版）等がある。最新作は『おね』上下巻（NHK出版）。

2009年 島根県益田市名誉市民賞受賞。韓国より、『篤姫』に功労賞が贈られる。

2009年より現在まで、TBS番組審議委員を務める。

所属：(株)プロダクション尾木

女性の生き方を支援する『女塾』の塾長を務める。



はまぎんホール ヴィアマーレ

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1
TEL 045-225-2173 FAX 045-225-2183

— 電車でのアクセス —

JR京浜東北根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町駅」動く歩道利用
徒歩 約5分

みなとみらい線「みなとみらい駅」下車
「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」 徒歩 約7分



共催：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会
持田製薬株式会社

事務局：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会
(横浜クリニック内)

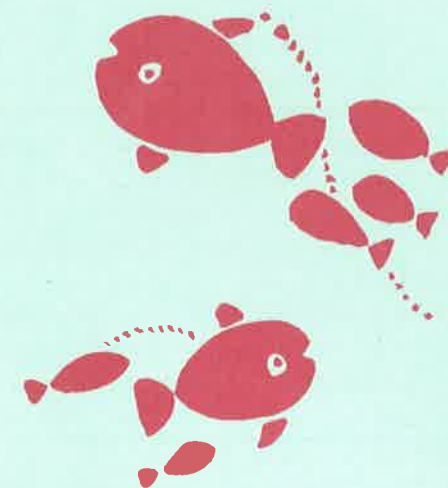
〒220-0004
横浜市西区北幸1-2-10 アスカ第2ビル7F
TEL 045-317-5953 FAX 045-317-5954
ホームページアドレス <http://www.fuanclinic.com/>
E-Mail waraku@fuanclinic.com

不安の医学

第15回横浜講演会

テーマ

「パニック症とさまざまな不安症」



2019年2月17日(日)

はまぎんホール ヴィアマーレ